

甲子園への道を



支えた人



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校
新聞部
彦根市金亀町4番7号

淡々と
そして堂々と

部長

松林基之先生



▲甲子園を見据えられる松林先生

本校野球部の滋賀大会での優勝を振り返り「勝つべくして勝ったと思う。大会を通してピンチのときでも持ち前の明るさを貫けていた」と部長の松林基之先生。
先生は野球部全体について「監督の目指しているモットーなどが反映されているチームだ」と思う。選手たちと監督の

関係も良い」と微笑まれた。また先生は甲子園への意気込みを「甲子園ではまだ無勝だが、全国大会に出たこともある相手を倒してきており、初戦で負けてしまうチームではないのでまずは1勝したい」と話された。最後に選手へ向けて「思い切り楽しみ、目標達成に向けて淡々と、そして堂々とプレーしてほしい」と激励された。

全力で
楽しんで

3年生マネージャー

植木栞梨さん

3年生マネージャーとして自身がつらくても、部員を支え続けてきた植木栞梨さん(3-6)は甲子園出場が決定したときの感想を「素直に

うれしかった。自分と同じ学年ということもあるが、それよりも1年生のころからずっと見てきたみんなが勝ったのがうれしい」と笑顔を見せた。また植木さんは甲子園への思いを「色々な人が支えてくれていることを実感した。甲子園でもその方々の思いを忘れないようにしていきたい」と明かした。最後に選手に向けて「支えてくれている人や応援してくれている人の思いを忘れずに、滋賀県の代表としていつも通り全力で楽しんでプレーしてほしい」とメッセージを送った。

みんなが
繋がっている

1年生マネージャー

篠原千尋さん

野球部のマネージャーとし



▲3年間野球部を支えてきた植木さん

ての仕事。「マネージャーになってからまだそんなに大変だと思ったことはない」と笑顔で話したのは1年生マネージャーの篠原千尋さん(1-7)。

篠原さんは野球部の雰囲気を「大会中でも周りの人たちをないがしろにせず、みんなが繋がっていると思う」と顔をほころばせた。また篠原さんは甲子園出場が決定したときの感想を「うれしかった。選手だった自分の兄を知っている最後の学年なので感謝している」と話した。そして甲子園に向けて「甲子園では主にスタンドでの応援やサポートをするので、スタンドで困ることがないようにしっかりと準備していきたい」と意気込んだ。最後に選手たちに向けて「3年生の先輩たちとはこれが最初で最後の夏になる。この最後の夏が少しでも楽しいものになるように応援も頑張るので、ぜひ楽しんでほしい」とエールを送った。



▶部の雰囲気を明るく話す篠原さん